



日中の寒さに、冬の厳しさを感じる時期になりましたが、保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか？さて、「進路だより」第2号を発行します。今回は、PTA研修視察及び小学部4年生「清掃工場見学」の様子、各学部進路学習会、全国大会での活躍等について報告します。なお、記載内容や進路全般に関して御意見、御相談などあれば、いつでもお気軽に連絡してください。

■PTA 研修視察

日 時：平成29年10月20日（金）

視察場所：鹿児島サン・ヴィレッジ始良（始良市平松）

京セラ鹿児島国分工場（霧島市国分山下町）

今年度は、上記の日程で行われ、保護者が20人参加しました。午前、就労継続支援B型事業所鹿児島サンヴィレッジ始良を訪問しました。最初に概要説明があったあと、施設内を見学しました。B型事業所である当施設では、聴覚障害のある方が3人働いており、この日は1人でした。補聴器は付けず、筆談は難しそうでしたが、身振りで周りの方とコミュニケーションをとっているとのことでした。仕事については、作業の手順を覚えればできるようになるということでした。B型事業所であり、雇用契約は結んでおらず、工賃として月に1万ほど支給されているようでした。工房では、きれいに作り上げられたアクセサリ等が展示・販売されていました。昼食後は、京セラ国分工場を訪問しました。会社概要の説明を20分ほど聞いたあと、人事担当者から「夢に向かって果敢にチャレンジし続けられる人。素直な心、ひたむきさをもっている人を採用したい」との話でした。国分工場は1972年に130人でスタートして、現在4544人。障害のある方は74人いて、聴覚障害のある方はそのうちの7人。7人中2人の話を聞くことができました。身振りや筆談・口話等を活用しながら周りとのコミュニケーションを取り、物流の仕事をされているとのこと。楽しいことばかりではないけれど、周りに助けをもらいながら充実した生活・仕事ができている、会社を愛し、いきいきと生活されている様子でした。「この会社で働けて幸せです」との言葉がとても印象的でした。



■小学部 4年生清掃工場見学

10月5日（木）4年生の社会科の学習で清掃工場の見学に行ってきました。午後からの2時間、清掃工場とリサイクルプラザについて、詳しく説明を受けながら学習しました。実際に目の前でごみピットからクレーンでごみを焼却炉に移す様子を見たり、ごみの処理に年間53億円ものお金がかかっているのを聞いたりして、二人とも驚きの連続でした。ごみの分別がされないことで、そこで働く方が困っていることも知り、貴重な経験になりました。



■全国大会で大活躍 ～障害者スポーツ大会、ロボット競技大会、アビリンピック～

2 学期に入り、各種全国大会に高等部の生徒が出場しました。産業工芸科 3 年溝川敦也さんが、10 月愛媛県で開催された全国障害者スポーツ大会の陸上競技 800m で 2 位、1500m で 3 位に入賞しました。産業工芸科 1 年牛原太陽さん、竹内景星さん、3 年大西統真さんは、10 月秋田県で開催された全国高等学校ロボット競技大会に県代表として出場し、全国 128 チーム中 14 位でした。また、被服科 2 年川添茜さん(洋裁部門)と産業工芸科 2 年渡邊龍輝さん(家具部門)は、11 月栃木県で開催された全国障害者技能競技大会に出場し、2 人とも銀賞を受賞しました。このように、全国大会で同校から複数入賞することは珍しいとのことでした。選手のみなさんは、日頃から大会に向けて遅くまで練習を重ね、失敗を克服しながら努力してきました。その苦勞が報いられたことは、とても喜ばしいことだと思います。これらの経験はこれからの進路選択や卒業後の人生に向けて大きな自信になったと思います。選手の皆さん、おめでとうございます。



■各学部における進路研修会 ～小学部・幼稚部・乳幼児教育相談保護者学習会～

2 学期もそれぞれの学部での保護者学習会等で進路研修会を行いました。多くの保護者に参加していただき、進路状況やキャリア教育の取組、法定雇用率の改正のことなど、進路に関する様々な話をさせていただきました。どの学部でもたくさんの質問があり、日頃感じている悩みや御意見を聞くことができて、保護者の進路に対する意識の高さを感じる充実した研修会でした。



■法定雇用率の改正 ～平成 30 年度から 2.2%へ～

障害者雇用促進法により、障害者を雇用する割合(法定雇用率)が定められています。これは、5 年毎に改定されており、これまで 2.0%であったものが、平成 30 年度から 2.2%へ引き上げられます。その後平成 33 年度までに 2.3%になる予定です。また、今回から精神障害者も算定基礎に追加されることが決まっています。このような動きは、障害者雇用には追い風の施策です。しかし、一方「早期離職」「職種の限定」などの問題は、あまり改善されておられません。聴覚障害の啓発活動や根気強い職場開拓をさらに進めていく必要があります。まだ障害のある方にとっては、働きやすい環境とはいえないかもしれません。そこで生活していくためには、壁に立ち向かっていく強い精神力や忍耐力を身に付けることも大切だと感じています。

今年度第 2 号の進路だよりはいかがだったでしょうか？今年度の目標であった全学部で進路研修会を実施できて良かったと感じています。今回は、質疑の時間も多く取れたので、たくさんの意見をお聞きし、保護者の思いを共有できる機会となりました。さて、今年もあとわずかです。今年度最後の研修会を終り、新年を迎えます。気持ちを新たに、新しい目標や夢を掲げ、その実現に向けて努力し前進する一年でありたいですね。お正月には、お餅やおせちを食べながら、子供たちの夢を聞いてみてください。ぜひ御家庭でも進路についてお話しする機会にしてください。